

《担当者名》平 典子 hiran@hoku-iryo-u.ac.jp

## 【概要】

看護学を学ぶとは、看護実践のあり方、すなわち「誰に」「何のため」「何を」「どのように行うか」に関する知識とスキルを修得するということである。看護学原論では、看護学の原理として、看護実践の基盤となる概念を学ぶ。基盤となる概念をどのように考えるのか、それは一人ひとりの看護の哲学を形成し、看護の方法、つまり看護実践を規定するものとなる。授業の進め方として、まず「看護とは」何かを概観し、次に「看護実践の構造」では「何のため」「何を」「どのように行うか」考察する。そして、「看護実践と看護理論」において看護実践の知識体系となる看護理論の特徴を学ぶ。

## 【学修目標】

1. 看護学を構成する中心概念：人間、健康、環境、看護について説明できる
2. 看護の定義および看護実践の定義を説明できる
3. 看護実践の構造を構成する5要素を説明できる
4. ナイチンゲール以降の近代看護の特徴、および現代社会における看護職の役割と機能について理解できる
5. 看護実践の知識体系となる看護理論について、看護や健康など概念の特徴を理解し、看護実践の構造にどのように結びつくのか探求できる

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	1. 看護とは(1)	看護を学ぶということ(「ガイダンス」)	平
2	1. 看護とは(2)	1)看護の定義	平
3	1. 看護とは(3)	2)看護学を構成する中心概念	平
4	1. 看護とは(4)	3)歴史的変遷から見た看護学の発展	平
5	2. 看護実践の構造(1)	1)看護実践の定義と特徴(VTR視聴)	平
6	2. 看護実践の構造(2)	2)看護実践の特徴;グループワーク	平
7	2. 看護実践の構造(3)	2)看護実践の特徴;グループワーク	平
8	2. 看護実践の構造(4)	2)看護実践の特徴;グループ発表	平
9	2. 看護実践の構造(5)	2)看護実践の特徴;グループ発表	平
10	2. 看護実践の構造(6)	3)看護実践を構成する要素	平
11	3. 看護実践と看護理論(1)	1)看護学の知識体系としての看護理論	平
12	3. 看護実践と看護理論(2)	2)看護実践の構造「生活を助ける」に関連する理論 F. ナイチンゲール看護論	平
13	3. 看護実践と看護理論(3)	2)看護実践の構造「生活を助ける」に関連する理論 V. ヘンダーソン看護論	平
14	3. 看護実践と看護理論(4)	3)看護実践の構造「対人関係を築く」に関連する理論 H. E. ペプロウ看護論 I. J. オーランド看護論	平
15	3. 看護実践と看護理論(5)	4)看護実践の構造「看護師の思考過程」に関連する理論 E. ウィーデンバック看護論	平

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

筆記試験60%、課題レポート40%にもとづく。

#### 【教科書】

1. 宮脇美保子編：基礎看護学 看護学概論 第4版，メヂカルフレンド社，2017.
2. 手島恵監修：看護者の基本的責務．定義・概念／基本法／倫理 2020年版，日本看護協会出版会，2019.
3. F. ナイチンゲール、薄井坦子訳：看護覚え書 改訳第7版，現代社，2011.
4. V. ヘンダーソン、湯楨ます他訳：看護の基本となるもの 再新装版，日本看護協会出版会，2016.
5. E. ウィーデンバック、外口玉子他訳：臨床看護の本質 第2版，現代社，1984.
6. 小笠原喜康：最新版 大学生のためのレポート・論文術，講談社現代新書，2018.

#### 【参考書】

1. 野嶋佐由美編：看護学の概念と理論的基盤 看護学基礎テキスト第1巻，日本看護協会出版会，2012.
2. 小山真理子編：看護の機能と方法 看護学基礎テキスト第4巻，日本看護協会出版会，2012.
3. 筒井真優美編：看護理論 看護理論20の理解と実践への応用 改訂第2版，南江堂，2015

#### 【学修の準備】

1. 授業の進行にそって、事前に教科書『看護学概論』の関係する章を熟読する。(30分)
2. 授業で配付される資料はファイルにまとめ、いつでも活用できるように携帯する。
3. 授業で配付される「前回の授業コメント」を熟読し、授業の振り返りに活用する。(15分)

#### 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP 1, 2, 3

#### 【実務経験】

看護師

#### 【実務経験を活かした教育内容】

病院での看護師としての実務経験に基づき、看護実践の構造ならびに看護実践を構成する概念について講義する。